



Explanation of Visual identity plan and details	01	V.I. 計画、経緯の説明
About symbol/logotype	02~03	シンボルマーク/ロゴについて
Symbol + English logotype	04~05	シンボルマーク + 英文ロゴタイプ
Symbol + Japanese logotype	06~07	シンボルマーク + 和文ロゴタイプ
About the color system	08~09	カラーシステムについて
Another in case of two color print	10~11	単色印刷の場合、他
At monochrome prints other than the black	12~13	黒以外の単色印刷の場合
Example of prohibiting use of mark and logotype	14~15	マーク、ロゴタイプの使用禁止例
Power Point template	16~17	パワーポイントの基本フォーマット
Basic format of business card	18~19	名刺の基本フォーマット
Envelope design(Japanese-English parallel description and fixed form/airmail)	20~21	封筒デザイン (定型/和英併記、エアメール)
Envelope design(Japanese-English rectangle/parallel description)	22~23	封筒デザイン (角型/和英併記)
Handling explanation	24	取り扱い説明

Explanation of Visual identity plan and details V.I. 計画、経緯の説明

■はじめに

三重大学は、国立大学法人への移行を機に、V. I. (Visual Identity) 計画を押し進めていくこととしました。三重大学広報委員会が中心となって作業を進め、2006年11月に新しいロゴタイプを制作しました。

V. I. 計画とは、シンボルマークやロゴマークといったデザイン等を用いて、三重大学の魅力やブランドイメージをシンボライズすることを目的とした活動のことです。これを学生・教職員が共有化し、使用することで、広く社会の方々と視覚的なコミュニケーションを図ることを目指しています。

シンボルマーク、ロゴマーク等の共有化にあたり、デザインに関することやカラーシステム、使用禁止例など様々な事項を定め、その手引き書としてマニュアルを作成しました。今後学外へ向けた様々な広報活動や文書等にご活用いただき、三重大学のさらなるイメージアップにつながるよう、正しく運用されることをお願いします。

■ロゴタイプ制作の経緯

ロゴタイプのデザイン案については、本学教育学部美術教育コースの岡田博明准教授に依頼しました。シンボルマークについては、今もなお多くの場面で使用され、学内外で浸透しているデザインであることから、デザインの変更は行わないことにしました。そのかわり、ロゴタイプをこれまでより軽妙タッチのオリジナル書体となるよう同氏に依頼しました(次ページ【シンボルマーク/ロゴについて】参照)。

同氏から提案されたデザイン案に、広報委員会をはじめ様々な方々の意見を参考に修正を加え、2006年11月に開催された教育研究評議会において承認されました。

About symbol/logotype

シンボルマーク／ロゴについて

シンボルマークデザイン意図について

シンボルマークについては元三重大学教育学部教授宮田修平先生が1992年に作成されたもので、当時ここまでのV.I.計画を国立大学で行っていた例は少ないのではないかとと思われる。その後15年が経過し、通常ならば見直す時期に来ているが、現状で大学内外においてかなり浸透しているデザインである事から今回の三重大V.I.計画においてもその初期段階から「このままにしたい」として残したものである。

イメージとしては全体に四角い形態で強いイメージを持ち、波のような太いラインで「開いた本」のように見せる事で「知」のイメージを表現している。

ロゴデザイン意図について

シンボルマークがデザインされた時点で付随するロゴも作成されていたが、2006年の大学の法人化を期に見直すこととなった。

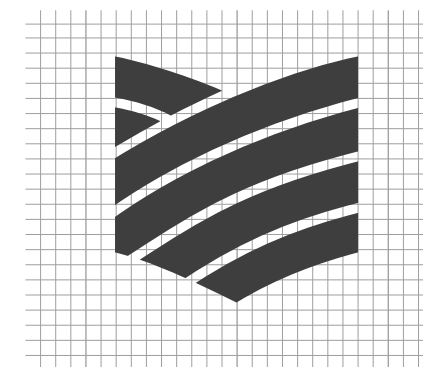
三重大学のシンボルマークは角が多くまた四角に近い形態の為、かなり重たいイメージがある。このため、合わせる文字も重厚になりがちで現在ではやや古いというイメージがあった。そこで軽い感じがかつシンボルマークの形態的特徴を損なわず、組み合わせたときにバランスの良くなるロゴが求められた。

作成された英文字ロゴは、シンボルマークの強さを生かしつつ、しかし調和と新しいイメージを求め、マークの曲線部分のイメージをロゴの「E」の部分に取り込んでデザインされている。

現代においてはロゴが英文であってもそれほど違和感をもたれる事は少なくなり、また英文である事の方が形状としての「MIE」を記憶してもらいやすいため、この英文ロゴの方が使用頻度は高くなると思われる。

和文ロゴについては、結果として2006年まで使用されていたロゴとあまり大きく変更されていないように見えるが、大本の書体が決定した後、重たいイメージを払拭するためラインとラインの間隔を一本一本吟味し、角を丸くするなどの処理をし、重厚なマークに対して軽妙なタッチのオリジナル書体になっている。

■三重大学シンボルマーク



■三重大学ロゴタイプ

MIE
UNIVERSITY

三重大学

Synbolmark+Rogotype

シンボルマーク + 英文ロゴタイプ

シンボルマーク + 英文ロゴタイプのバリエーション

シンボルマークと英文ロゴの組み合わせでは3種類のタイプが用意されている。
また、それぞれのタイプに「国立大学法人」を組み合わせたタイプも用意した。

英文ロゴ -A type

大きめのロゴタイプとシンボルマークの組み合わせ。「UNIVERSITY」と2段重ねにする事で全体の長さを短くし、マークとしての塊感を出したデザイン。

英文ロゴ -B type

上下に少ないボリュームで表示したい場合などに使用するデザイン。

英文ロゴ -C type

マークとしての塊感を優先したデザイン。画面又は書類の隅に配置する際に重宝するデザイン、最もデザインされた感じのレイアウトを作ることができる。



1 使用に関してはマークと文字の間隔や大きさの比率なども重要なファクターとしてデザインされているので、変更しないように注意されたい。

2 組み合わせマークロゴに関しては、全体の比率を変えなければ、大きさは自由に変更して構わない。

3 色に関してはカラーシステムのページを参照の事。(→p08)

■英文ロゴ -A type



■英文ロゴ -B type



■英文ロゴ -C type



Synbol + Japanese Rogotype

シンボルマーク + 和文ロゴタイプ

シンボルマーク + 和文ロゴタイプのバリエーション

シンボルマークと和文ロゴの組み合わせでは3種類のタイプが用意されている。
また、それぞれのタイプに「国立大学法人」を組み合わせたタイプも用意した。

和文ロゴ-A type

現在でも最も使用頻度の多い横位置での組み合わせ。

和文ロゴ-B type

和文であることから縦位置での使用も考えられる。その場合に使用するタイプ。

和文ロゴ-B2 type

学内発行の冊子等などの背表紙に用いることを想定したタイプ。
シンボルマークとロゴタイプの比率がA、Bタイプと違い同じ幅に設定されている。このタイプは単色での使用を想定しているがカラーシステム（→p08）でA、Bタイプと同じように使用しても良い。

- 1 使用に関してはマークと文字の間隔や大きさの比率なども重要なファクターとしてデザインされているので、変更しないように注意されたい。
- 2 組み合わせマークロゴに関しては、全体の比率を変えなければ、大きさは自由に変更して構わない。

- 3 色に関してはカラーシステムのページを参照の事。（→p08）

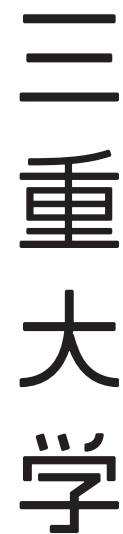
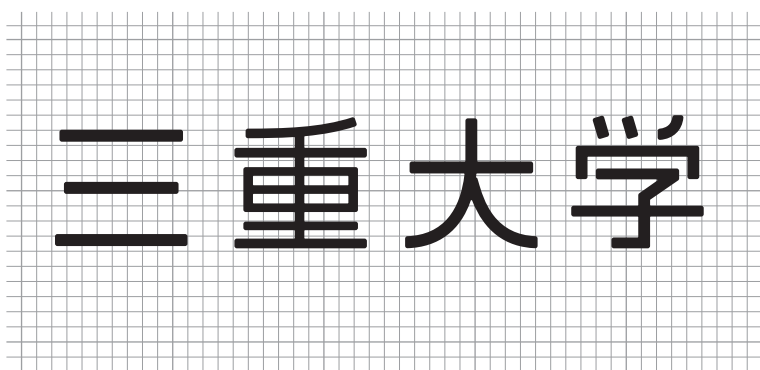
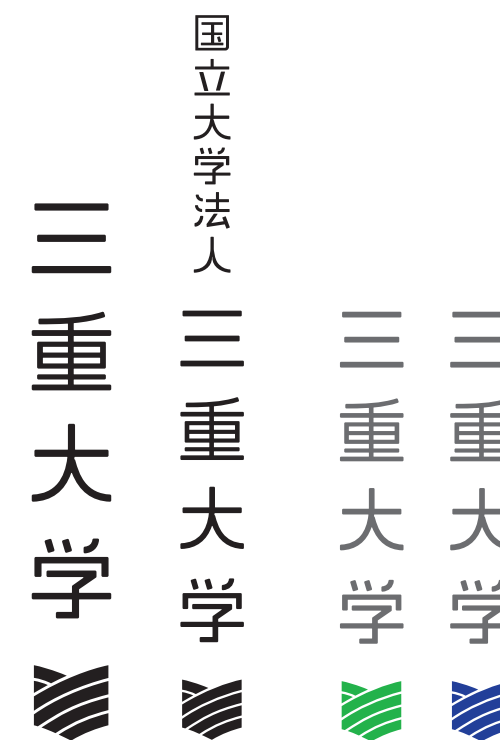
■和文ロゴ-A type



■和文ロゴ-B type



■和文ロゴ-B2 type



About the color System カラーシステムについて

カラーシステムについて

三重大学では色による大学イメージの統一感を図るべく、イメージカラーを設定している。

1st カラーとして三重大グリーン、2nd カラーとして三重大ブルー、補助カラーとして70%グレーの3色である。シンボルマーク、ロゴタイプとの組み合わせもこの3色によって表示される。

シンボル + ロゴのカラー印刷について

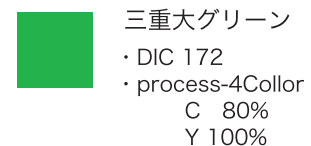
シンボルマークとロゴの組み合わせでは2色のタイプが用意されている。どちらもロゴタイプはグレーであるが、シンボル部分は三重大1stカラーの緑と、2ndカラーの青となる。色別の用途、目的は特に設定されていないのでどちらを使用しても問題はない。背景の色等を考慮して使用されたい。4色印刷時には必ず指定の色にてマーク、ロゴタイプを表示する。

印刷時の色指定等について

印刷時の色指定は以下の数値で使用する

- * 特色が使用できる場合は「DIC」の数値を使用する
- * 4色印刷 (Process 4 Collor) では CMYK の数値を使用する
- * 1色 (単色印刷) に関しては→p10 参照
- * 2色印刷時にはマーク、ロゴタイプは1色で表示される場合が多いと思われるが、その場合は「単色印刷」のページを参照されたい。

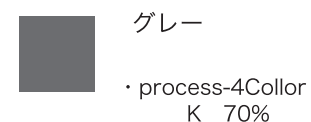
1 三重大1st カラー



2 三重大2nd カラー

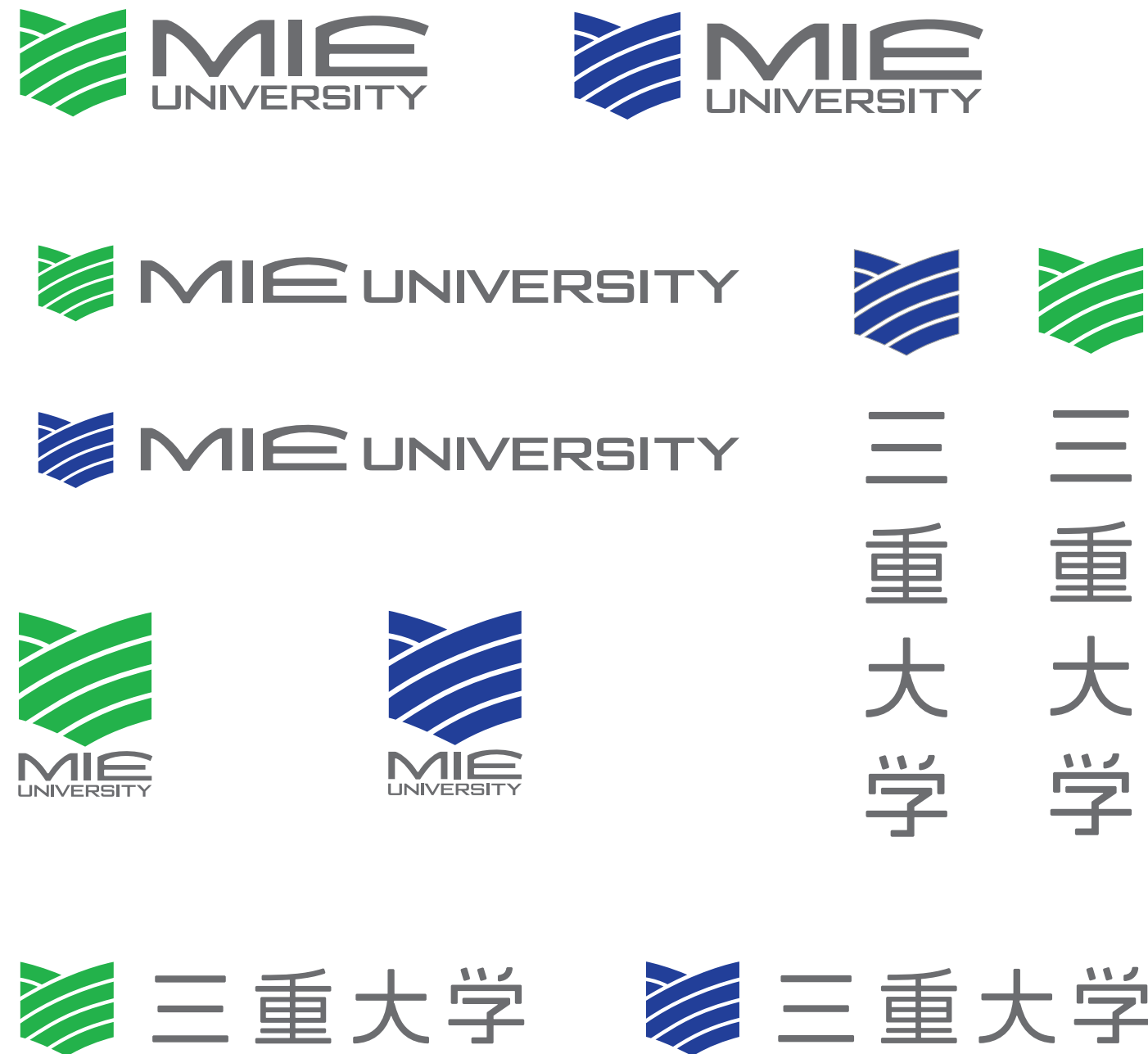


3 三重大補助カラー



4 カラープリンターを使用した印刷の場合、プリンターによって発色が異なるのでデータ段階で指定の数値を入力してあれば出力された色が指定とずれていても問題としない。

■ 4色印刷 (通常のカラー印刷) 時の色指定

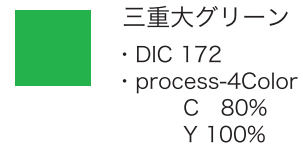


Another in case of two color print 単色印刷の場合、他

カラーシステムについて

シンボルマーク及びロゴタイプを単色印刷時に使用する場合、いくつかのケースが考えられるが、ここでは黒の単色印刷時のカラーシステムを説明する。

1 三重大 1st カラー



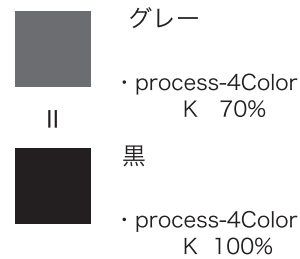
白黒環境に於ける変更色



2 三重大 2nd カラー



3 三重大補助カラー



1 この表示色はあくまでも単色印刷時のもので、4色印刷の場合は指定色を使用されたい。

2 三重大補助カラーのグレーは単色（黒）印刷時、70%の黒又は100%の黒を使用する。

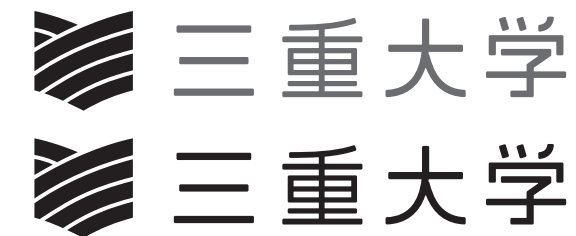
3 カラープリンターを使用した印刷の場合、プリンターによって発色が異なるのでデータ段階で指定の数値を入力してあれば出力された色が指定とずれていても問題としない。



又は



三重大大学
三重大大学



色紙に単色印刷した場合



At monochrome prints other than the black 黒以外の単色印刷の場合

指定色による単色印刷

三重大グリーン、三重大ブルーによる単色印刷の場合は、背景に指定色を使用するか図柄に指定色を使用するかのどちらかになるため右図の1■～4■のような配色となる。

指定色以外の色による単色印刷

指定色以外の単色印刷とは、例えば白い紙に赤1色で印刷するような場合の事で、場合によっては色付きの紙に（例えば黄色い紙に赤で印刷）1色で印刷する場合も想定される。その場合には基本的にマーク、ロゴタイプが黒ベタ版、あるいは白抜き版になるように配色する。5■～8■



1 この表示色はあくまでも単色印刷時のもので、4色印刷の場合は指定色の組み合わせを使用されたい。

2 背景色が濃い色で指定色が使用できない場合、マーク、ロゴタイプともに白抜きで使用する。
3 背景色が薄い色で指定色が使用できない場合、マーク、ロゴタイプともに印刷色を使用する。

4 紙の色が背景色になる場合と印刷色が背景色になる場合が考えられる。
5 7■～8■はあくまでも色紙に1色印刷の際認められる配色で、4色印刷時に使用してはいけない。

基本的な単色印刷



1 ■白紙に三重大グリーン



2 ■白紙に三重大グリーン



3 ■白紙に三重大ブルー



4 ■白紙に三重大ブルー

その他の単色印刷



5 ■白紙に赤1色



6 ■白紙に赤1色



7 ■黄色紙に赤1色



8 ■黄色紙に赤1色

Example of prohibiting use of mark and logotype マーク、ロゴタイプの使用禁止例

デザインシステム展開における使用禁止例

マーク、ロゴタイプの使用に関しては、部分的な変更や自由な色の使用は基本的にすべて禁止である。決められたルールで使用される事でマークやカラーシステムなどのデザインシステムは生きてくるので、この事は厳密に守る事が前提である。

あくまで一部の例であるが、以下にありがちな変更例や禁止デザインを表示する。



1 以前の三重大メインカラーと
わかれていた色を使用しない。



2 シンボルカラーに勝手な色を使用しない。



3 単色印刷以外ではロゴタイプを
黒で使用しない。



4 シンボルマークに指定ロゴタイプ
以外の書体を組み合わせて使用しない。



5 シンボルカラーとロゴタイプの
大きさのバランスを変えて使用
しない。



6 シンボルカラーとロゴタイプを
変形させて使用しない。



7 シンボルカラーとロゴタイプの
位置のバランスを変えて使用し
ない。



8 シンボルカラーとロゴタイプの
文字間隔を変えて使用しない。



9 ロゴタイプを袋文字にしたり、
影を付けたりしない。



10 指定色以外の組み合わせで使用
しない (但し指定色1色で表示
するのはOK → p12 黒以外の
単色印刷参照)

Basic format of power point

パワーポイントの基本フォーマット

パワーポイントのデザイン



Basic format of business card 名刺の基本フォーマット

名刺のデザイン

今回のV.I.計画において、真っ先にデザインプランの一つに上がったのが名刺である。マークやロゴの変更に伴い、順次こうした物のデザインも変更になっていくが、名刺に関しては「自由に作れる余地も残して欲しい」との要望も多かった。そのため、このデザイン例も今回作成されたロゴやシンボルを使った場合こうしたデザインが考えられます、と言うデザイナーからの提案であり、全ての教職員がこのデザインに変えなければいけないと言う物ではない。とは言え多くの人がある程度共通したデザインの名刺を持つ事で対外的なイメージがより強まる効果はある。

名刺は非常に小さい情報媒体なので、名前も住所も肩書きも全部大きい文字で見せたくなくなる。しかし、そのような名刺は見る方にとって逆に記憶に残りにくい物で、一番見せたい情報のみ大きく表示し（名刺の場合は氏名）、あとの情報は出来るだけ固って表記して余白を十分に取る事が大事である。

- 1 デザイン例では氏名等の文字は「ヒラギノ角ゴ Pro W6」を使用している。
- この冊子では紙面の都合上、原寸での表示にはなっていないが、三重大学ホームページ上から原寸の物がダウンロードできるので、氏名等の文字を打ち変えて生協などで印刷に出せば名刺が出来上がる。「ヒラギノ明朝 Pro W3」のフォントをお持ちでなければ、明朝体の他のフォントでも代用できる。その際、字の間隔や大きさはデータを参考にさせていただきたい。

■名刺デザイン例



A



B



C



D



E



F



G

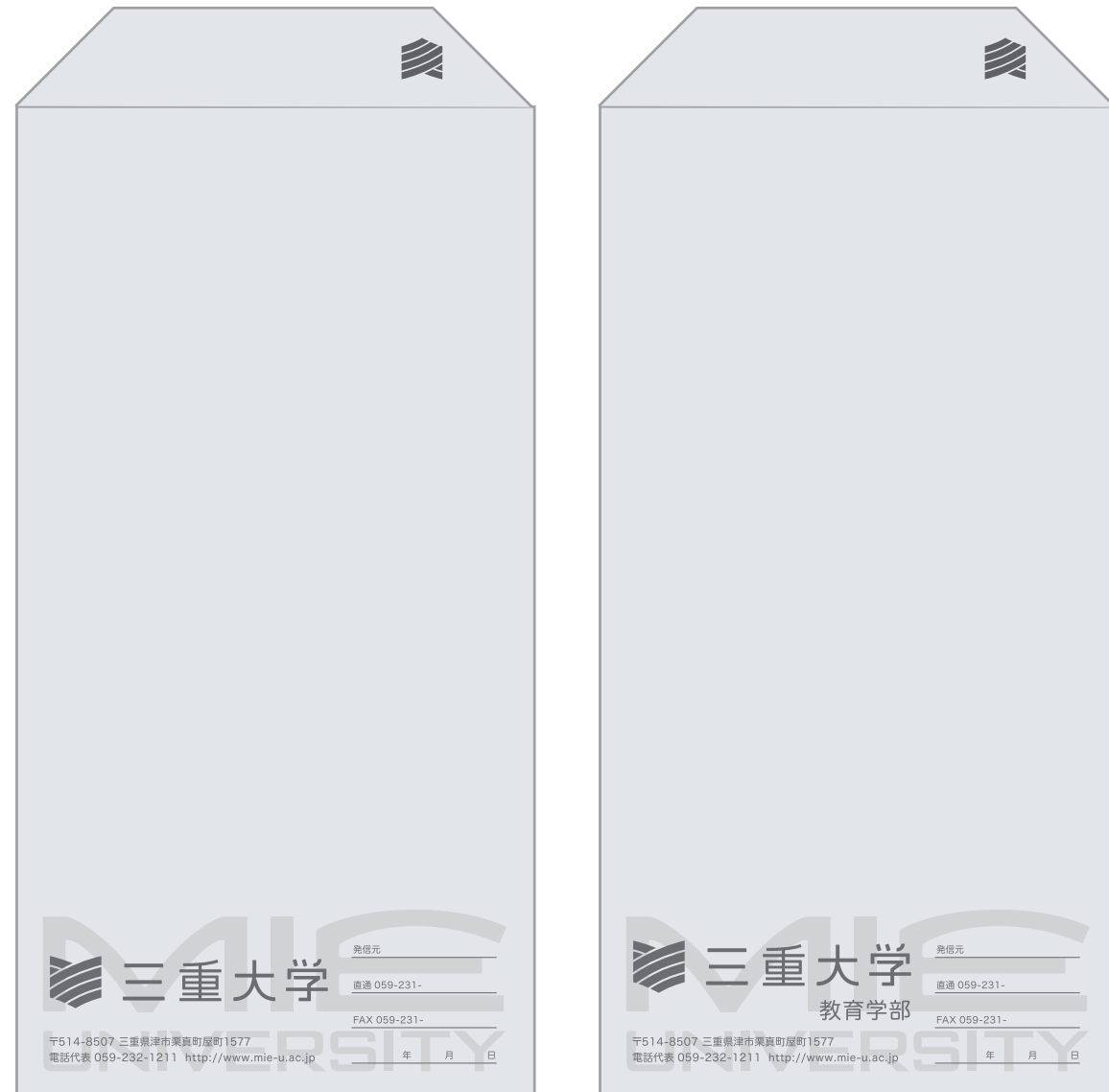


H

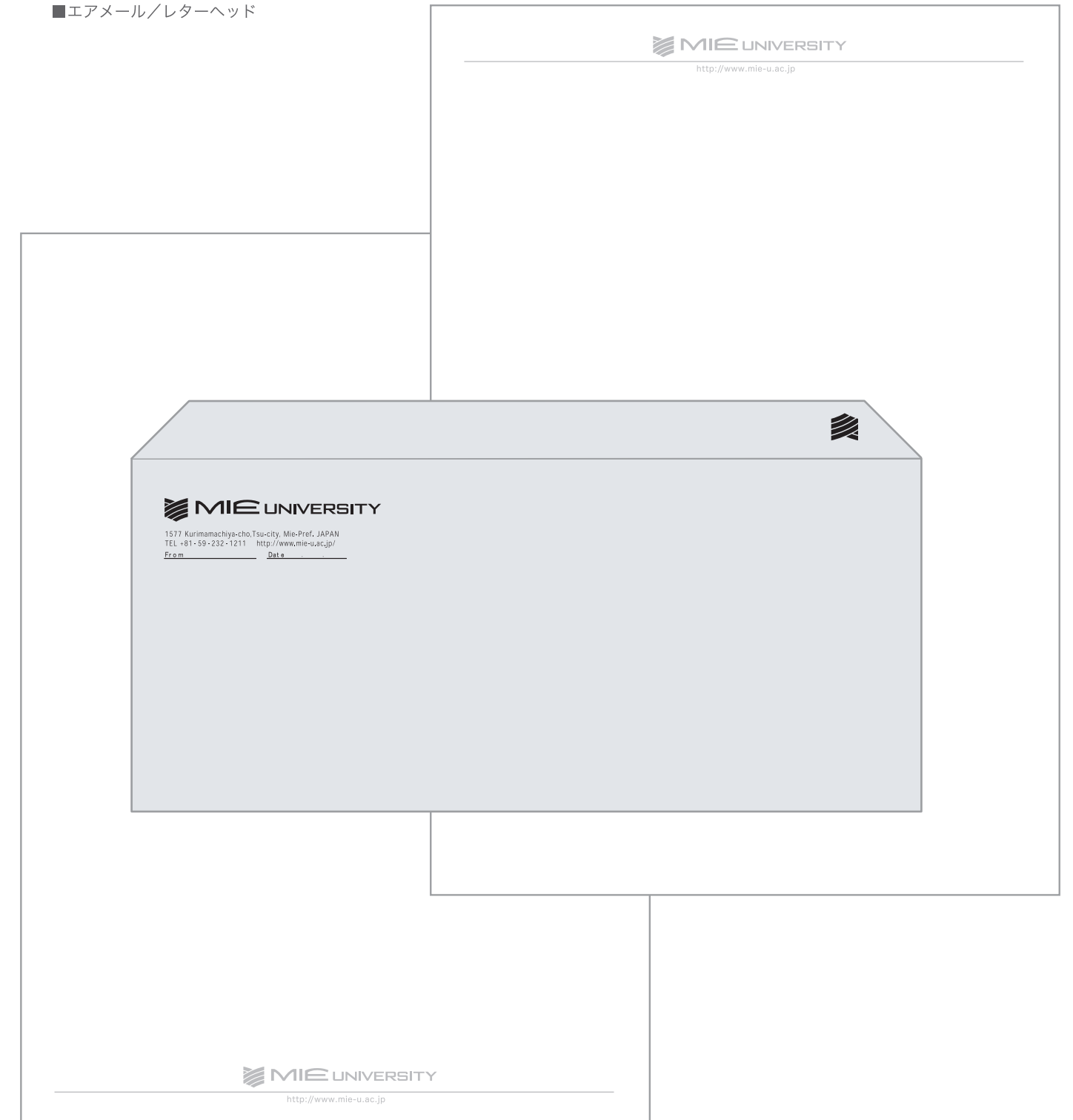
Envelope design (Japanese-English parallel description and fixed form/airmail)
封筒のデザイン (定型/和英併記/エアメール)

封筒のデザイン

■長形封筒 (ここに表示した物は原寸ではありません、印刷用データはデータファイルの物をご使用下さい。)



■エアメール/レターヘッド



Envelope design 2 (Japanese-English parallel description and fixed form) 封筒のデザイン 2 (角型/和英併記)

封筒のデザイン 2

封筒も大学のビジュアルイメージを左右する大事なアイテムである。
細長い長形タイプ、角形タイプ、エアメールタイプ、便せんと用意した、長形、角形タイプはそれぞれ各種サイズがあるがここに用意したデザインはそれらの基本になるデザインで、大きさに応じて若干のデザイン変更はあり得る。

また、学部名称入りのタイプには基本形として以下の各学部の文字も用意した。書体は「ヒラギノ丸ゴシック Pro W3」が基本である。

人文学部	創造開発研究センター
教育学部	生命科学研究支援センター <small>遺伝子実験施設/動物実験施設/機器分析センター/電子顕微鏡施設</small>
医学部	国際交流センター
附属病院	総合情報処理センター
工学部	高等教育創造開発センター
生物資源学部	保健管理センター
環境保全センター	ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
附属図書館	附属教育実践総合センター
附属小学校	附属練習船勢水丸
附属中学校	附属紀伊・黒潮生命地域 フィールドサイエンスセンター
附属特別支援学校	
附属幼稚園	

■角形封筒（ここに表示した物は原寸ではありません、印刷用データはデータファイルの物をご使用下さい。）



学部等名称入り



学部等名称無し

Handling explanation

取り扱い説明

本マニュアルの記載内容について

本マニュアルは、三重大大学のシンボルマークやロゴを印刷媒体に効果的に使用していただくためにまとめたものです。三重大大学に関するいろいろなデザイン作業を進める上で不明な点が生じた場合は、できるだけ現場判断を避けて下記の窓口にお問い合わせ下さる事をお勧めします。

マニュアル問い合わせ先窓口：三重大大学広報チーム

収録デザインデータについて

本マニュアルに従って印刷物等をデザインされる場合は、ダウンロードファイルに収録されたデザインデータから必要なデータをダウンロードしてお使い下さい。

デザインデータ：印刷物デザインに使用します

シンボルマーク、大学名和英ロゴ、シンボルマークとロゴの組み合わせ、封筒デザイン、名刺デザイン。

画像データ：Web デザインに使用します

シンボルマーク、大学名和英ロゴ、シンボルマークとロゴの組み合わせ、

▼ マークやロゴのデザインシステムは厳密に指定された物を永く使用する事で、初めてブランド力を発揮するものです。デザインに関わる方はその事を理解いただき、三重大のシンボルマークおよびロゴをより効果的に使用してください。

1 使用に関してはマークと文字の間隔や大きさの比率なども重要なファクターとしてデザインされているので、変更しないように注意されたい。

2 組み合わせマークロゴに関しては、全体の比率を変えなければ、大きさは自由に変更して構わない。

ただし、指定以外の色を使用しないよう注意されたい。

3 デザインデータ

Adobe Illustrator 書類・拡張子「.ai」
バージョン 8.0 以上

4 画像データ

jpeg 画像・拡張子「.jpg」